

吸収合併に係る事前開示書類  
(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める事前備置書類)

2025 年 1 月 30 日  
品川リファクトリーズ株式会社

2025年1月30日

## 吸収合併に係る事前開示書面

東京都千代田区大手町二丁目2番1号  
品川リファクトリーズ株式会社  
代表取締役社長 藤原 弘之

品川リファクトリーズ株式会社（以下「当社」という。）は、2025年4月1日を効力発生日（以下「効力発生日」という。）として、品川ファインセラミックス株式会社（以下「品川ファインセラミックス」という。）と合併（以下「本合併」という。）し、当社は品川ファインセラミックスの資産、負債その他の権利義務の全部を存続し、品川ファインセラミックスは解散することにいたしました。本合併に関し、会社法第794条第1項及び会社施行規則第191条の定める事項は下記のとおりです。

### 記

1. 吸収合併契約の内容  
別紙1に記載のとおりです。
2. 合併対価の相当性に関する事項  
当社が品川ファインセラミックスの発行済株式の全てを所有しているため、本合併に際し株式の発行及び金銭等の交付は行いません。また、本合併による当社の資本金及び準備金の額の変動はありません。
3. 吸収合併に係る新株予約権の定めに関する事項  
品川ファインセラミックスは、新株予約権を発行していません。
4. 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等  
別紙2に記載のとおりです。
5. 最終事業年度の末日後に生じた会社財産の状況に重要な影響を与える事象
  - (1) 品川ファインセラミックス  
該当事項はありません。
  - (2) 当社  
該当事項はありません。
6. 吸収合併の効力発生日以後における吸収存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本合併以後も当社の資産の額は、負債の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併後の当社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、債務の履行に支障を及ぼすような事態は現在のところ予測されておりません。

したがって、本合併後における当社の債務について履行の見込みがあるものと判断いたします。

以上

(別紙1)



## 合併契約書

品川リファクトリーズ株式会社（東京都千代田区大手町二丁目2番1号。以下「甲」という）と品川ファインセラミックス株式会社（東京都千代田区大手町二丁目2番1号。以下「乙」という）は、甲と乙の合併に関し次のとおり契約（以下、「本契約」という）を締結する。

### （合併の方法）

第1条 甲および乙は、甲を吸収合併存続会社とし、乙を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」という）を行い、甲は存続し、乙は解散する。

### （合併に際して発行する株式および合併交付金）

第2条 甲は乙の発行済み株式の全部を所有しているため、本合併に際して、株式の発行は一切行わないものとする。また、合併交付金は支払わない。

### （増加すべき資本金および準備金等）

第3条 甲は本合併により変動させる資本金および準備金等の金額を次のとおりとする。

- (1) 資本金 金0円
- (2) 資本準備金 金0円
- (3) 利益準備金 金0円
- (4) その他利益剰余金 会社計算規則に則り金額は甲が決定するものとする。

### （合併承認総会等）

第4条 甲は、会社法第796条2項の規定により、乙は会社法第784条1項の規定により本契約についてそれぞれ株主総会による承認を得ないで合併する。

### （効力発生日）

第5条 本合併が効力を生じる日（以下、「効力発生日」という）は2025年4月1日とする。但し、合併手続き進行上の必要性その他の事由により、甲および乙が協議してこれを変更することができる。

### （会社財産の引継）

第6条 乙は2025年3月31日現在の財産目録、貸借対照表、その他同日の計算に基づく資産、負債および権利義務一切を効力発生日において甲に引き継ぐ。

### （善管注意義務）

第7条 甲および乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで善良なる管理者の注意をもって、

それぞれの業務を執行し、かつ一切の財産管理の運営を行うものとし、その財産および権利義務に重大な影響を及ぼすような行為については、予め甲、乙協議し合意のうえ、これを行う。

(従業員の処遇)

第 8 条 甲は、効力発生日において、同日に在籍する乙の従業員を全員引き継ぐ。従業員に関する取扱いのうち、勤続年数については乙における計算方式による年数を通算し、その他については甲、乙協議して決定する。

(甲の役員の任期)

第 9 条 甲は、本合併に際し新たに取締役を選任しない。

- 2 本合併前に就任している甲の取締役および監査役の任期は、本合併によって何らの影響を受けないものとする。

(合併条件の変更、合併契約の解除)

第 10 条 本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間において、天変地変その他の事由により甲または乙の財産若しくは経営状態に重要な変動が生じ、若しくは重大な瑕疵が発見された場合は、本契約を解除、または相手方と協議のうえ、合併条件を変更することができる。

(協議事項)

第 11 条 本契約に定める事項の他、本合併に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従って甲および乙が誠意をもって協議のうえ決定する。

本契約の成立を証するため、契約書 1 通を作成し、甲および乙は記名捺印のうえ、1 通を保有する。

2025 年 1 月 22 日

甲 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号  
品川リファクトリーズ株式会社  
代表取締役 藤原 弘之



乙 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号  
品川ファインセラミックス株式会社  
代表取締役 福崎 良雄



(別紙2)

# 第 22 期 報 告 書

自 2023 年 4 月 1 日  
至 2024 年 3 月 31 日

事 業 報 告

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

個 別 注 記 表



品川ファインセラミックス株式会社

## 事業報告

2023年4月1日から  
2024年3月31日まで

### 1. 当社の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過

##### ① 全般の概況

当期における事業環境は、世界的なインフレの進行とインフレ抑制に向けた金融引き締めに伴う影響、ウクライナやイスラエルでの紛争、原材料やエネルギー価格高騰、中国景気の減速等もあって、世界的に不透明な状況が続きました。

これらの影響を受けて半導体製造装置分野におけるセラミックス需要も当期前半は前年比マイナスとなりました。しかしながら、後半は生成 AI の急速な技術革新によるロジックやメモリ用半導体需要の回復が進んだことで、セラミックス需要も緩やかに回復しました。

当社はこれらの需要変動に鋭意対応するとともにコストダウンを進めて参りましたが、当期の売上金額は 1,830 百万円（対前期△333 百万円）、経常利益は 70 百万円（対前期△70 百万円）の減収減益となりました。

##### ② 売上高

###### 1) 半導体製造装置分野

世界的に消費者の電子機器の購買意欲が高まらない状態で PC やスマートフォンの出荷台数は前年割れとなりました。加えて、これらに使用される半導体もメモリを中心に価格下落が続いた影響を受け、当該分野の国内設備販売金額は前年比 19.6% 減となりました。これを受けて、当社セラミックス部材の需要も減少し、売上は対前期 130 百万円減の 1,235 百万円に留まりました。

###### 2) 液晶製造装置分野

多くの液晶メーカーが営業赤字となり、設備投資額も前年同期比で半減程度の水準にまで落ち込みました。これを受けて、セラミックス需要も減少した結果、売上は対前期 175 百万円減の 63 百万円に留まりました。

###### 3) 溶湯部材分野

当分野は、自動車メーカーや家電メーカーにおける半導体不足の改善が緩やかに進んだことで、徐々に生産が回復して参りました。その結果、セラミックスの需要も改善し、売上は対前期 22 百万円増の 144 百万円となりました。

###### 4) ポンプ分野

農機具・ポンプメーカーの大口顧客一社との良好な関係が継続し、一定の売上維持が期待できる分野です。当期も顧客密着営業を進めて参りましたが、半導体分野で使用されるセラミックス真球需要改善が遅れた為、売上は対前期 26 百万円減なる 105 百万円に留まりました。

5) 耐摩耗部材分野（含新規分野）

当分野は、蒸着材、電気自動車用リチウムイオンバッテリー製造用の粉碎部材・増場等及び窒化ケイ素粉碎メディア成形等の新規分野需要が堅調であった一方で、中国景気の減速の影響を受け、サイアロンローラーなどの各種機械部品需要は鈍化しました。その結果、売上は対前期 20 百万円減の 201 百万円に留まりました。

6) 塗料分野

当分野は、中国景気の減速の影響を受け、主力製品であるスリーポンド社向け OEM 製品の輸出需要が鈍化しました。その結果、売上は対前期 3 百万円減の 82 百万円に留まりました。

③損益

当期は、劣化設備の更新ならびに修繕を進める一方で、生産管理ソフト改良や生産性向上活動による製造コストダウンを進めて参りましたが、経常利益は対前期 70 百万円減の 70 百万円となりました。

2023 年度分野別売上高及び経常利益（単位：百万円）

分野	前期	当期	差異	
	2022/4~2023/3	2023/4~2024/3		
売上高	半導体製造装置	1,365	1,235	△130
	液晶製造装置	238	63	△175
	溶湯部材	122	144	22
	ポンプ部品	131	105	△26
	その他耐摩耗材	222	201	△20
	塗料	85	82	△3
	合計	2,163	1,830	△333
	経常利益	139	70	△70

(2) 対処すべき課題

品川グループの先端機材セクターにおいて「先端セラミックス技術」で成長し続ける存在感のある企業として、6次・7次中期経営計画において、以下の3項目に取り組んで参ります。

①基盤再整備と生産能力拡大

- 1) 新工場への設備移設による生産能力拡大
  - ・後工程：精密加工、附加選別能力拡大と受託加工
  - ・上工程：設備劣化更新による素材品質向上と外販
- 2) 原価低減と予算管理の強化
  - ・利益最大化を第一とした工程設計（自社・外注加工の適正化）

- ・生産管理ソフトの拡張運用（個別原価・重量管理）
- ・発生費用の予実管理徹底
- ・仕掛・製品在庫管理の徹底（キャッシュフロー改善）

#### ②新成長分野開拓と拡販

- 1) Bプロダクト：特殊成長分野に特化した高機能セラミックスによる大型ビジネス
- 2) 特殊蒸着材：半導体・航空機分野蒸着材の拡販推進
- 3) Si3N4 大型部材：鉄鋼用高性能ロール製造技術を確立し7次中期で本格参入
- 4) Liイオン電池：耐摩耗部材・溶湯部材を拡販
- 5) 次世代半導体装置：関連部材の試作強化と工程化推進  
YAG・YOF 部材、静電チャック、高断熱塗料断熱材の新規試作・開発・販売
- 6) 塗料・薄膜：機能性塗料、薄膜の技術確立

#### ③企業規模の拡大（M&A、組織変更）

- ・技研と共同で産学連携を推進  
新成長6分野に対し、製品開発を加速。早期売上増を目指す。
- ・セクター内セラミックス部門の連携  
ノウハウや顧客情報の共有ならびに製品相互売買や機能材の共同開発を推進。
- ・ISO9001の導入  
ISO9001に準拠した品質管理を更に強化。将来のISO9001取得に向けた準備を推進。

#### (3)営業成績及び財産の状況の推移

項 目	2023年度	2022年度	2021年度
	2023/4～2024/3	2022/4～2023/3	2021/4～2022/3
売上高(千円)	1,830,382	2,162,996	1,603,150
経常利益(千円)	69,553	139,189	76,100
当期純利益(千円)	39,198	90,699	49,558
1株当たり当期利益(円)	19,599.18	45,349.66	24,779.15
総資産(千円)	1,153,605	1,258,888	1,036,056
1株当たり純資産(円)	329,556	309,957	264,607

#### (4)設備投資及び資金調達状況

##### 1) 当期中に実施した設備投資

当期において実施しました設備投資の総額は、37百万円であります。

その主なものは、次のとおりです。

- |                  |       |
|------------------|-------|
| ① ロータリー平面研削盤     | 13百万円 |
| ② CAD/CAMソフトウェア  | 4百万円  |
| ③ 生産管理システムソフトウェア | 3百万円  |

2) 資金調達状況

当期においては、新たな借入、増資あるいは社債発行による資金調達を行なっていません。

## 2. 会社の概況

### (1)主要な事業内容

ファインセラミックス及び耐熱塗料の製造、販売

### (2)主要な事業所

東京営業室(神奈川県)、岡山事業所(岡山県)、久々井事業所(岡山県)

### (3)株式の状況

1)会社が発行する株式の総数	8,000 株
2)発行済株式総数	2,000 株
3)当期末株主数	1 名

### (4)大株主

株 主 名	持 株 数	議決権比率
品川リフラクトリス株式会社	2,000 株	100%

### (5)従業員の状況(2024年3月31日現在)

	従 業 員 数	前年度比増減
男 子	44 名	+7
女 子	12 名	+2
計	56 名	+9

### (6)親会社との関係

当社の親会社は、品川リフラクトリス株式会社(東京都千代田区所在、資本金 33 億円)であり、当社株式 2,000 株(議決権比率 100%)を保有しております。

## 3. 取締役及び監査役 (2024年5月29日現在)

会社における地位及び担当又は主な職業	氏 名
代表取締役社長(品川リフラクトリス <sup>(株)</sup> 常務執行役員)	福崎 良雄
取締役(品川リフラクトリス <sup>(株)</sup> 常務執行役員)	土屋 好典
取締役(品川リフラクトリス <sup>(株)</sup> 技術研究所長)	北村 匡譜
取締役岡山事業所長兼営業部長(品川リフラクトリス <sup>(株)</sup> 執行役員)	吉川 正博
監査役(品川リフラクトリス <sup>(株)</sup> 経理部係長)	松岡 勇希

### 当期中の取締役の異動

退任 取締役	飯田 正和
新任 取締役	北村 匡譜

貸借対照表(2024年3月31日)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
流動資産	972,171,468	流動負債	473,123,085
現金及び預金	159,636,570	買掛金	281,227,811
受取手形	175,127,345	短期借入金	100,000,000
売掛金	246,213,275	設備未払金	5,574,360
商 品	100,407,642	未払費用	44,430,746
仕掛品	261,707,391	未払消費税	6,823,300
原材料	15,057,536	賞与引当金	33,080,000
補助材料	5,533,537	預り金	1,986,868
未収入金	1,089,972	固定負債	21,370,000
未収法人税等	7,398,200	退職給付引当金	21,370,000
固定資産	181,433,943	負債合計	494,493,085
有形固定資産	158,924,469	(純資産の部)	
建物及び構築物	22,513,261	資本金	100,000,000
機械及び装置	91,281,386	資本剰余金	154,889,804
窯	31,273,119	資本準備金	154,889,804
車両及び運搬具	5	利益剰余金	404,222,522
工具	26	その他利益剰余金	404,222,522
器具及び備品	4,916,272	(うち当期純利益)	(39,198,352)
建設仮勘定	8,940,400	純資産合計	659,112,326
無形固定資産	3,907,374		
ソフトウェア	3,907,374		
投資その他の資産	18,602,100		
敷 金	548,000		
繰延税金資産	18,054,100		
資 産 合 計	1,153,605,411	負債及び純資産合計	1,153,605,411

損益計算書

〔 自 2023 年 4 月 1 日  
至 2024 年 3 月 31 日 〕

科 目	金 額	
経常損益の部	円	円
営業損益の部		
売上高		1,830,382,315
営業費用		1,760,864,560
売上原価	1,593,874,231	
販売費及び一般管理費	166,990,329	
営業利益		69,517,755
営業外収益の部		
営業外収益		565,040
雑収益	565,040	
営業外費用		529,568
支払利息	529,568	
経常利益		69,553,227
特別損益の部		8,330,072-
固定資産処分損	130,072	
新工場耐震調査費用	8,200,000	
税引前当期利益		61,223,155
法人税、住民税及び事業税		19,205,203
法人税等調整額		2,819,600
当期純利益		39,198,352

株主資本等変動計算書

〔 自 2023 年 4 月 1 日  
至 2024 年 3 月 31 日 〕

		(単位:円)
株主資本		
資本金	前期末残高及び当期末残高	100,000,000
資本準備金	前期末残高及び当期末残高	154,889,804
利益剰余金	前期末残高	365,024,170
	当期変動額	
	剰余金の配当	-
	利益準備金積み立て	-
	当期純利益	39,198,352
	当期末残高	404,222,522
株主資本合計	前期末残高	619,913,974
	当期変動額	39,198,352
	当期末残高	659,112,326
純資産合計	前期末残高	619,913,974
	当期変動額	39,198,352
	当期末残高	659,112,326

## 個別注記表

### (重要な会計方針)

#### 1. 棚卸し資産の評価基準及び評価方法

商品、仕掛品……………個別法による原価法

原材料、補助材料……………ファイナセラミックス事業については最終仕入原価法による原価法、耐熱塗料事業の原材料については移動平均法、補助材料については最終仕入原価法による原価法

#### 2. 減価償却の方法

##### (1)有形固定資産

建物および、2016年4月1日以降に取得した構築物については定額法、その他については定率法によっている。

##### (2)無形固定資産

ソフトウェアについては定額法によっている。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1)貸倒引当金

実績繰入率により計上している。

##### (2)賞与引当金

従業員賞与の期末日後の支給見込額のうち当期負担額を計上している。

##### (3)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

#### 4. 消費税等の会計処理方法…………… 税抜方式

### (貸借対照表注記)

1. 親会社に対する短期金銭債権	19,566,156 円
2. 親会社に対する短期金銭債務	35,004,323 円
3. 親会社に対する短期借入金	100,000,000 円
4. 有形固定資産の減価償却累計額	1,926,406,314 円
5. 無形固定資産の減価償却累計額	3,008,226 円
6. 割引手形高及び裏書譲渡高	341,675,253 円
7. 1株当たり当期利益	19,599.18 円

(損益計算書注記)

1. 親会社への売上高	95,603,502 円
2. 親会社からの仕入高	1,369,569 円

(株主資本等変動計算書注記)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当会計年度 期首株式数	当会計年度 増加株式数	当会計年度 減少株式数	当会計年度末 株式数
普通株式	2,000 株	一千株	一千株	2,000 株

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当なし

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

該当なし

## 第22期 計算書類に係る付属明細

{  
2023年4月1日から  
2024年3月31日まで  
}

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細
2. 引当金の明細
3. 販売費および一般管理費の明細



品川ファインセラミックス株式会社

登記住所：東京都千代田区大手町2-2-1

事務所住所：岡山県備前市伊部707番地

## 1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：円)

区分	資産の種類	当期末首残高	当期増加額	当期減少額	当期償却額	当期末残高	減価償却累計額
有形固定資産	建物	23,057,009			1,819,120	21,237,889	14,755,620
	構築物	1,517,638			242,266	1,275,372	929,798
	機械及び装置	95,691,965	21,459,000	62	25,869,517	91,281,386	1,462,690,907
	窯	40,704,627		1	9,431,507	31,273,119	324,839,486
	車輛運搬具	5			0	5	3,464,995
	工具	26			0	26	24,817,556
	器具及び備品	4,596,304	2,918,075	9	2,598,098	4,916,272	94,907,952
	建設仮勘定	0	8,940,000			8,940,000	0
	有形固定資産計	165,567,574	33,317,075	72	39,960,508	158,924,069	1,926,406,314
無形固定資産	ソフトウェア計	0	3,973,600		66,226	3,907,374	3,008,226
	合計	165,567,574	37,290,675	72	40,026,734	162,831,443	1,929,414,540

## 2. 引当金の明細

(単位：円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
賞与引当金	31,480,000	33,080,000	31,480,000	33,080,000
員外引当金 (社会保険料)	3,692,000	4,428,000	3,692,000	4,428,000
退職給付引当金	18,713,500	2,656,500	0	21,370,000

## 3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科目	金額	摘要
運送費	6,976,073	
販売費計	6,976,073	
役員報酬	8,160,000	
給与資金	81,481,049	
従業員諸手当	33,234,795	
法定福利費	17,200,507	
厚生費	2,685,137	
不動産賃借料	1,872,000	
租税課金	372,200	
旅費	3,110,355	
通信費	1,860,006	
事務用消耗品費	1,083,501	
図書印刷費	163,908	
交際費	540,047	
諸会費	105,800	
試験研究費	1,089,449	
水道光熱費	145,454	
支払保険料	39,332	
広告宣伝費	209,096	
雑費	6,661,620	
一般管理費計	160,014,256	
販売費及び一般管理費計	166,990,329	

## 監 査 報 告 書

2023年4月1日から2024年3月31日までの第22期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監査役として、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決議書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき当該年度に係わる事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2024年5月23日

品川ファインセラミックス株式会社

監査役 松岡 勇希